

キジロオヒキグモの網にトビジロイソウロウグモ

関根 幹夫

Occurrence of the kleptoparasitic spider, *Argyrodes cylindratus*, on the web of *Arachnura logio*

Mikio Sekine

トビジロイソウロウグモ *Argyrodes cylindratus* Thorell 1898 (ヒメグモ科) は、盗み寄生者 (kleptoparasite) で、自らは造網せず、寄主が食べない小昆虫や、寄主が捕えた獲物を盗み食いし、時には寄主の網を食べるクモである (新海 2006)。本種が餌盗みに侵入する寄主は、オオシロカネグモ*, ジョロウグモ*, イシサワオニグモ*, オニグモ*, ゴミグモ*, ユノハマヒメグモが報告されている (*は、円網種) (新海明 2007)。また、オオトリノフンダマシについて、直接餌盗みは観察されていないが、本種の寄主である可能性が報告されている (新海明 2002)。このように、トビジロイソウロウグモは円網種を寄主とする傾向のあることが指摘されている (新海明 2007)。

今回、キジロオヒキグモ *Arachnura logio* Yaginuma 1956 (コガネグモ科) の網上に本種が居るところを確認したのでここに報告する (図 1-2)。餌盗み行動を観察していないが、トビジロイソウロウグモはメス成体で体長 5 mm ほどであり、キジロオヒキグモの網の一隅から短い糸を引き吊り下がっていたことから、キジロオヒキグモを寄主としていると推定される。キジロオヒキグモの網型は、円網の内の上部 2 区画に横糸がないキレ網 (完全キレ網) に分類されており (新海 1989)、今回の記録は、本種が円



図 1. キジロオヒキグモの網に居るトビジロイソウロウグモ♀.

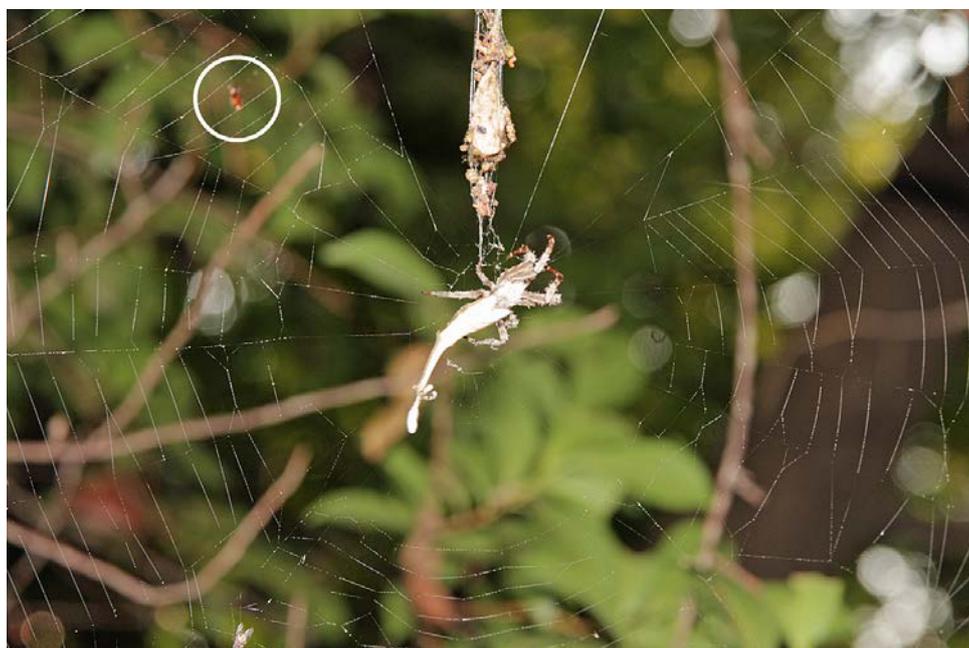


図 2. キジロオヒキグモの網とトビジロイソウロウグモ♀ (白丸の中).

網種の寄主に特殊化していることを示す一例といえよう。

観察記録

2016年8月16日, 奈良県生駒郡三郷町立野, 34°36'11"N, 135°40'54"E, 標高 211 m において, キジロオヒキグモ (♀成体; 体長 23~24 mm) のキレ網 (直径 約 20 cm) の 10 時方向の隅に, 短い糸で吊り下がっているトビジロイソウロウグモ (1♀成体; 体長 約 5 mm) を確認した. 関根確認.

引用文献

- 新海明 2002. トビジロイソウロウグモによるオオトリノフンダマンからの餌盗み. *Kishidaia*, 82: 15.
新海明 2007. イソウロウグモ類のホストの一覧. *Kishidaia*, 91: 21-33.
新海栄一 1989. 日本産造網性クモ類の網型の分類. Pp. 153-179. In: 西川喜朗・小野展嗣 (編), 八木沼健夫教授退職記念論文集. 八木沼健夫教授退職記念論文集刊行会 (大阪), 196 pp.
新海栄一 2006. 日本のクモ. 文一総合出版 (東京), 334 pp.



岡山県の鏡野町で確認したクモ

関根幹夫

A list of spiders in Kagamino-cho, Okayama Prefecture

Mikio Sekine

岡山県苫田郡鏡野町の富小学校と上齋原小学校で「クモ観察会」を行った際に確認したクモを報告します. 富小学校では全校児童 19 名, 上齋原小学校では全校児童 17 名が参加しました. 富小学校における観察は, 2016 年 3 月をもって廃校となった富中学校の校内, 上齋原小学校では, 小学校の中庭と学校に隣接する職員駐車場で行いました.

観察日と場所: 2016 年 10 月 18 日, 天気: 晴れ, 気温: 22°C

岡山県苫田郡鏡野町富西谷 581-1 鏡野町立富小学校

2016 年 10 月 19 日, 天気: 晴れ, 気温: 19°C

岡山県苫田郡鏡野町上齋原 1320 鏡野町立上齋原小学校

同定者: 関根幹夫

採集あるいは確認されたクモは以下のとおり. ♀♂を記していないものはメス. y は幼体. 場所は, 富西谷 (とみにしだに), 上齋原 (かみさいばら) と記す. 科の配列は, 小野 (2009) に準じ, 学名は省略した.

ユウレイグモ科

イエユウレイグモ (富西谷)

ウズグモ科

カタハリウズグモ (富西谷)

ヒラタグモ科

ヒラタグモ (富西谷, 上齋原)

タナグモ科

クサグモ (富西谷), コクサグモ (富西谷, 上齋原)

キシダグモ科

アズマキシダグモ (上齋原)